

# 自ら考え、深い学びへと向かう授業の構築

## 副主題 Thinking&Talking による展開を通して

研究主題について

<作成にあたって>

- ・生徒の実態…学力はやや低め、諦めやすい、やや消極的で受け身
- ・教師にとって取り組むべき内容が分かりやすく、授業の方向性の見えるもの
- ・生徒の成長の方向が見えるもの
- ・全教科で取り組めるもの

○キーワード ①個人の考え、個人の思考、思考を深める・・・Thinking

- ・自分の考えをもっていること
- ・自分の考えを「伝えたい」「確かめたい」「教えたい」など
- ・自己決定の場



②協働による活動、話し合い、学び合い・・・Talking

- ・それぞれの考えを伝え合う場・・・自己存在感  
自分の考えを話す、他者の話を聴く、
- ・他者の考えを聞き、自分の考えとの共通点や差異点に気付く場
- ・様々な考えを整理したり、関連付けたりすることで新しい考えを創造する場
- ・共感的な人間関係、温かい人間関係



③深い学び・・・Thinking

- ・様々な受け入れ、比較整理することで自分の考えを深める
- ・教科の見方・考え方を働かせて
- ・自己の変容に気付く
- ・新たな学びへの意欲、

他者の前で、自分の考えを自信をもって話す、伝える。

そこから、活動を通して新しい学びに気付き、自分を変容する。

そのことで授業が楽しくなる。

楽しいから、また学びたい。

## 【研究の重点】

### 「共通実践事項」

#### ① 主体的に学習に取り組ませるための工夫

- 前時の活動や既習事項の確認をする。
- 具体性や必要感のある教材・教具を活用した導入の工夫をする。
- 生徒の主体性につながる学習課題を提示する。
- 探究的な活動にかかる時間や場を保証し、学習の見通しをもたせる。

#### ② 協働による活動の工夫

- グループによる話し合い活動として捉えて実践する  
グループ…4人グループ、ペア、チーム

##### ① 協働による活動を設定する場面

- ア 多様な考えや意見（多面的な思考）を引き出す必要がある場面で。
- イ 対話によって思考を深めたり広げたりする必要がある場面で。
- ウ 発想の質を高め合う必要がある場面で。
- エ 自分と他の意見を対比させて考えることで思考が深まる場面で。
- オ 一つの作業や実験をもとに、考えを深める場面で。
- カ 習得した知識を実践する場面で。
- キ 未知の事象について結果を予測したり分析したりする場面で。

そのねらいは・・・

- ア 自分の考えを確かにして深めるために。（自信）
- イ 他の考えに気付き、思考を広げるために。（ヒント）
- ウ 皆で考えを練り上げるために。（練り上げ）
- エ 考えの共通点や差異点を聞き合うことで思考を深めるために。（比較）
- オ 考えを出し合い協働して解決するために。（協働）
- ク 条件を基に結果を予測するために。（予測）
- カ 新たな考えを創り上げるために。（分析）
- キ 実践を通してより確かに身に付けるために。（定着）

##### ② どのような活動にするのか

#### ○ 自分の考えをもたせること（Thinking）

- ・・・話し合い活動に入る前に自分の考えをもっていること
- ・ 課題に向かう時間や場を保証し、探究的な活動につなげる
- ・ 導入や資料、学習のヒントなど自己の考えをもてるように手立てを工夫する。

## ○ 話し合い活動の工夫

- ・ 状況に応じて多様な形態を工夫する。
  - A 近くの生徒と相談する・・・短時間、即時性、自分の考えの方向性を確認するなど
  - B グループで意見を出し合う、考えをまとめる
- ・ 話し合い活動のねらいを明確にする。・・・本時の学習課題との関連
- ・ 必要に応じて、話し合いの可視化を図る。
  - ・ 今何を話し合っているのかが見える
  - ・ それぞれの意見を書き込むことで主体性を高める。
  - ・ 様々な考えの比較ができ、検討しやすくなる。
  - ・ 話し合いの進行状況やポイントが見える。

### ホワイトボードの利点

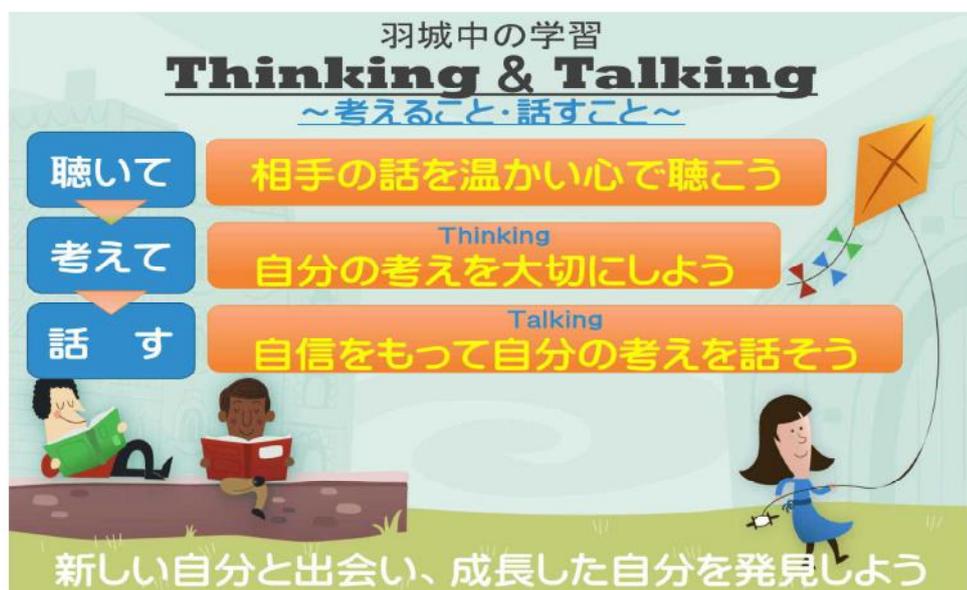
- ・ 考えを広げる。
- ・ 考えを深める。
- ・ 考えの根拠や理由を付ける。
- ・ シンキングツールの活用

### タブレットの利点

- ・ 教師と生徒、生徒と生徒の間で情報の共有を図る。
- ・ 視覚的な情報を与える。
- ・ インターネット等を活用した情報検索。

### ③ 話し合い活動を活性化させるために

教室に掲示し、生徒に羽城中の学習スタイルを示す



## Thinking

考えること

### <論理的思考力> 客観的事実に基づいて合理的に考える思考

- 資料から読み取ることができる規則や定義等を理解し、それを具体的にあてはめる。
- 多くの資料や条件から推論に必要な情報を引き出し、それに基づいて分析する。
- 資料は、全体としてどのような内容を述べているかを適確にとらえ、それについて評価する。
- 資料に提示されている事象が、論理的にどのような関係にあるのかを見通す。
- 前提となる資料から仮説を立て、他の資料などを用いて仮説を検証する。
- 議論の論点・争点について、前提となる暗黙の了解や根拠、また、推論の構造などを明らかにするとともに、その適否を判断する。

### <創造的思考力> 人の脳が持つ直感や無意識の力を引き出して、新しい仮説を導き出す思考

- 自分の考えを主張したり、意見をまとめたりしながら、アイデアを生み出す。
- 価値観の異なる人たちと協働して、新たな発想を生み出し目的に迫る。

## Talking

話すこと

### ☆ 育成すべき資質・能力を育むための対話 → 深い学び

- 多様な考えや意見（多面的な思考）を引き出す。
- 対話によって思考を深めたり広げたりする。
- 互いの考えの共通点や差異点を整理し、発想の質を高め合う。
- 自分と他の意見を対比させて考えることで思考を深める。
- 一つの作業や実験をもとに、考えを深める。
- 習得した知識を実践する。
- 未知の事象について対話によって結果を予測したり分析したりする。

★ 話合いの中に全ての個の存在が認められることが大切

## 大切にしたい思考力

### 「整理・分類する力」

- …・いろいろな事象や事柄について、必要な情報を比較・分類・整理し、問題解決に向かう力
- ・他者の発言や考えについて、共通点や差異点を見付ける力

### 「話し合う力」

発信する力 表現する力 分かり合う力

- …・自信をもって自分の考えを話す力
- ・相手の話を温かい心で最後まで聴く力
- ・他者との対話を円滑に進め、合意形成する力
- ・自分の考えを分かりやすく発信する力

## 羽城中の「言語活動」について

言語活動とは、思考力、判断力、表現力等の育成に資する言語による様々な活動をいう。

### < 表現する >

- ・適切な音量で、話することができる。
- ・事実を正確に伝えることができる。
- ・具体物や図やグラフを効果的に用いて、分かりやすく説明できる。
- ・立場や根拠を明確にして、自分の考えや答えを説明できる。
- ・学習シートやノート等に自分の考えを工夫して記述したり、次の学習につながる振り返りを記述したりすることができる。

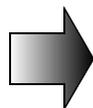
### < 聴く >

- ・話し手を見ながら話を聴くことができる。
- ・話の要旨を正しく理解することができる。
- ・視点を変えたり、他の事象と関連付けたりして多面的・多角的に物事を分析することができる。

## ③ 授業のまとめと振り返りの充実

授業で学習したことを生徒ともにまとめることにより、学習の深まりを図るとともに、自己の変容に気付く振り返りを実施する。

- ・自分自身についての振り返り
- ・他者についての振り返り
- ・課題についての振り返り
- ・課題解決の方略についての知識



**次時の学習意欲**

☆ 生徒にメタ認知を促し、自己調節を図る。

学習シート、振り返りシートの活用